

公衆衛生学セミナー

臨床研究・疫学研究を とりまくEcosystem

Learning healthcare systemの実現にむけて

演者

慶應義塾大学薬学部医薬品開発規制科学講座

教授 漆原尚巳 先生

<講演概要>

承認前段階に得られる臨床試験からの情報と、承認後に得られる情報の乖離が指摘されてから既に半世紀を経過している。この間、特に欧米では、ランダム化比較試験のメタアナリシス手法と、それに対比しうる大規模医療情報データベースを用いた市販後観察研究の発展、及びPropensity Scoreを用いた解析手法の導入により、従前の手法に比してより確からしい因果推論を可能とするリスク評価の枠組みが出来上がりつつある。これらは、近年のIT技術の長足の進歩と、それに対応した規制科学やデータマネジメント、統計解析などの基盤技術の発展に依拠するもので、ICH-GCPによる国際共同臨床研究はその最たる成功例の一つである。

日本も例外なくこの潮流の中にあり、臨床研究中核病院指定など研究インフラの医療現場への融合が進みつつある現在、学習型医療システムへの移行が現実味を帯びてきた。

日時

平成28年7月23日(土)午後3時～午後4時

会場

獨協医科大学大学医学部120教室(教室棟1階)

どなたでも聴講できます
事前予約の必要はありません
参加費は無料です

主催:獨協医科大学医学部公衆衛生学講座

お問い合わせ:0282-87-2133(担当:長尾・今井)